



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年2月8日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 4681 URL https://www.resorttrust.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊藤 勝康  
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 嶋根 直登 (TEL) (052) 933-6519  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け IR電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	106,262	7.9	9,121	6.5	10,521	11.9	6,350	△11.6
29年3月期第3四半期	98,480	△0.3	8,566	△38.7	9,405	△38.6	7,181	△35.8

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 6,995百万円(186.3%) 29年3月期第3四半期 2,443百万円(△73.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	59.51	54.70
29年3月期第3四半期	67.46	62.01

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	424,643	121,193	27.4
29年3月期	421,606	118,379	27.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 116,303百万円 29年3月期 113,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
30年3月期	—	23.00	—		
30年3月期(予想)				23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	171,000	19.1	17,000	25.8	18,200	22.9	11,800	7.2	110.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	108,518,999株	29年3月期	108,518,999株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	1,692,834株	29年3月期	1,891,262株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	106,717,778株	29年3月期3Q	106,455,629株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページをご覧ください。
- ・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-IR資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(https://www.resorttrust.co.jp/ir/)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第3四半期連結累計期間の概況

※当第3四半期連結累計期間の「計画」については、平成29年5月15日付の公表数値に基づいております。

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	98,480百万円	106,262百万円	110,700百万円	+7.9%	△4.0%
営業利益	8,566百万円	9,121百万円	8,200百万円	+6.5%	+11.2%
経常利益	9,405百万円	10,521百万円	9,200百万円	+11.9%	+14.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	7,181百万円	6,350百万円	5,800百万円	△11.6%	+9.5%

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業の設備投資や雇用、所得環境の改善等が持続し、景気が緩やかに回復する中で、低迷を続ける個人消費にも改善の兆しが見られております。

このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の状況は、平成29年3月に開業した「エキシブ湯河原離宮」のホテル運営収益と会員権販売収益が業績貢献したほか、平成28年8月に販売を開始した「ラグーナベイコート倶楽部」の会員権販売が好調に推移したことなどにより、売上高は106,262百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は9,121百万円（前年同期比6.5%増）、経常利益は10,521百万円（前年同期比11.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,350百万円（前年同期比11.6%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。また、第1四半期連結会計期間より全社費用の計上方法を変更しております。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は変更後の算定方法で算出しております。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	20,749百万円	22,594百万円	23,550百万円	+8.9%	△4.1%
セグメント利益	4,633百万円	5,820百万円	4,310百万円	+25.6%	35.0%

会員権事業におきましては、平成28年8月に販売を開始した「ラグーナベイコート倶楽部」の会員権販売が好調に推移したことなどにより増収増益となりました。

【ホテルレストラン等事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	57,503百万円	60,096百万円	62,040百万円	+4.5%	△3.1%
セグメント利益	4,884百万円	4,432百万円	5,000百万円	△9.3%	△11.3%

ホテルレストラン等事業におきましては、平成29年3月に開業した「エキシブ湯河原離宮」のホテル運営収益が業績へ寄与した一方で、海外ホテルにおいてレストラン等の改修を行ったことなどの減益要因により増収減益となりました。

【メディカル事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	19,301百万円	23,032百万円	24,550百万円	+19.3%	△6.2%
セグメント利益	3,665百万円	3,974百万円	4,310百万円	+8.4%	△7.8%

メディカル事業におきましては、介護付有料老人ホーム「アクティバ琵琶」の経営を行うアクティバ(株)を連結の範囲に含めたことに加え、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員増加に伴う年

会費収入等の増加のほか、健診事業や化粧品、サプリ等物販事業が拡大したことなどにより増収増益となりました。

【その他】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	926百万円	539百万円	560百万円	△41.8%	△3.7%
セグメント利益	612百万円	378百万円	380百万円	△38.2%	△0.4%

その他におきましては、連結子会社であるアール・ティー開発㈱において賃貸物件が減少したことに伴い、オフィスの賃貸料収入が減少したことなどにより減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は424,643百万円（前連結会計年度末比0.7%の増加）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、現金及び預金が10,540百万円、投資有価証券が12,008百万円、それぞれ減少した一方で、有価証券が4,200百万円、仕掛販売用不動産が9,313百万円、建設仮勘定が12,226百万円、それぞれ増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は303,449百万円（前連結会計年度末比0.1%の増加）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、未払金が14,597百万円減少した一方で、前受金が14,072百万円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は121,193百万円（前連結会計年度末比2.4%の増加）となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、利益剰余金が1,453百万円、その他有価証券評価差額金が1,519百万円、それぞれ増加した一方で、為替換算調整勘定が1,067百万円減少したことなどによるものであります。その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は27.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月15日に公表した当期の業績予想に変更はありません。通期連結業績予想は以下のとおりです。

平成30年3月期 通期連結業績予想数値（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比
売上高	143,541百万円	171,000百万円	+19.1%
営業利益	13,514百万円	17,000百万円	+25.8%
経常利益	14,806百万円	18,200百万円	+22.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,010百万円	11,800百万円	+7.2%

通期業績見通しについては、平成29年3月に開業した「エクシブ湯河原離宮」が通期稼働するほか、平成30年2月に予定している「芦屋ベイコート倶楽部」の開業に伴い、それまで繰延べられてきた不動産収益が一括計上されることに加え、平成29年12月に完全会員制リゾートホテル「横浜ベイコート倶楽部」の会員権販売を開始いたしました。また、メディカル事業において、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員権販売増加に伴う、登録料収入、年会費収入の増加のほか、シニアレジデンスの運営施設拡大、健診事業や化粧品、サプリ等物販事業の拡大が見込まれることなどから、当社グループ全体として売上高 171,000百万円（前年同期比19.1%増）、営業利益 17,000百万円（同 25.8%増）、経常利益 18,200百万円（同 22.9%増）、親会社に帰属する当期純利益 11,800百万円（同 7.2%増）を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	39,063	28,523
受取手形及び売掛金	9,437	8,098
営業貸付金	41,553	43,786
有価証券	6,215	10,416
商品	915	1,020
販売用不動産	15,634	14,513
原材料及び貯蔵品	1,317	1,566
仕掛販売用不動産	26,931	36,244
繰延税金資産	4,810	4,245
その他	6,525	6,777
貸倒引当金	△974	△1,008
流動資産合計	151,430	154,184
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	93,810	90,576
機械装置及び運搬具（純額）	2,258	2,417
コース勘定	7,585	7,591
土地	37,946	38,032
リース資産（純額）	4,715	4,315
建設仮勘定	4,842	17,069
その他（純額）	4,663	3,969
有形固定資産合計	155,824	163,971
無形固定資産		
のれん	4,526	4,758
ソフトウェア	3,264	2,762
その他	2,600	3,550
無形固定資産合計	10,391	11,071
投資その他の資産		
投資有価証券	85,687	73,678
関係会社株式	1,387	1,389
長期貸付金	4,227	5,884
退職給付に係る資産	1,125	1,082
繰延税金資産	1,894	1,314
その他	10,473	12,842
貸倒引当金	△834	△775
投資その他の資産合計	103,959	95,415
固定資産合計	270,175	270,458
資産合計	421,606	424,643

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,401	2,008
短期借入金	9,200	9,371
1年内返済予定の長期借入金	4,616	19,209
1年内償還予定の社債	250	2,750
リース債務	662	672
未払金	22,786	8,188
未払法人税等	3,800	822
未払消費税等	494	1,942
前受金	33,532	47,604
前受収益	12,455	16,637
債務保証損失引当金	123	105
その他	6,454	8,366
流動負債合計	95,778	117,680
固定負債		
社債	3,450	825
新株予約権付社債	30,200	29,866
長期借入金	50,258	32,292
リース債務	4,402	3,954
繰延税金負債	871	944
役員退職慰労引当金	2,171	2,113
株式給付引当金	1,078	1,200
退職給付に係る負債	1,525	1,669
長期預り保証金	102,492	100,545
負ののれん	221	130
その他	10,774	12,227
固定負債合計	207,447	185,769
負債合計	303,226	303,449
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,588	19,588
資本剰余金	22,171	22,171
利益剰余金	71,837	73,291
自己株式	△2,788	△2,295
株主資本合計	110,809	112,755
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,007	2,526
為替換算調整勘定	2,222	1,154
退職給付に係る調整累計額	△139	△132
その他の包括利益累計額合計	3,089	3,548
新株予約権	—	214
非支配株主持分	4,480	4,674
純資産合計	118,379	121,193
負債純資産合計	421,606	424,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	98,480	106,262
売上原価	12,360	13,578
売上総利益	86,120	92,684
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	30,668	33,028
役員退職慰労引当金繰入額	214	80
修繕維持費	2,348	2,180
貸倒引当金繰入額	2	52
水道光熱費	3,545	3,987
減価償却費	5,175	5,501
その他	35,598	38,733
販売費及び一般管理費合計	77,553	83,563
営業利益	8,566	9,121
営業外収益		
受取利息	1,660	1,687
受取配当金	66	54
負ののれん償却額	90	90
貸倒引当金戻入額	31	64
債務保証損失引当金戻入額	11	18
持分法による投資利益	50	13
為替差益	—	49
その他	377	411
営業外収益合計	2,288	2,389
営業外費用		
支払利息及び社債利息	436	484
前受金保証料	79	63
控除対象外消費税等	80	313
為替差損	766	—
その他	87	126
営業外費用合計	1,449	988
経常利益	9,405	10,521

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
<b>特別利益</b>		
段階取得に係る差益	1,334	—
固定資産売却益	795	164
投資有価証券売却益	1,163	16
投資有価証券償還益	114	39
関係会社株式売却益	1	4
新株予約権戻入益	6	—
受取補償金	—	86
その他	0	—
特別利益合計	3,415	311
<b>特別損失</b>		
減損損失	1,334	—
固定資産除却損	186	155
固定資産売却損	1	385
投資有価証券償還損	—	59
投資有価証券売却損	38	—
関係会社株式売却損	7	—
役員退職慰労金	105	34
寄付金	97	—
その他	—	47
特別損失合計	1,769	683
税金等調整前四半期純利益	11,051	10,149
法人税、住民税及び事業税	3,056	3,065
法人税等調整額	744	547
法人税等合計	3,801	3,613
四半期純利益	7,250	6,536
非支配株主に帰属する四半期純利益	69	185
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,181	6,350

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	7,250	6,536
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	682	1,520
為替換算調整勘定	△5,523	△1,067
退職給付に係る調整額	34	6
その他の包括利益合計	△4,807	459
四半期包括利益	2,443	6,995
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,376	6,809
非支配株主に係る四半期包括利益	66	186

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	11,051	10,149
減価償却費	5,701	6,181
減損損失	1,334	—
のれん及び負ののれん償却額	295	484
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△40	△25
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	266	173
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△61	△57
受取利息及び受取配当金	△1,727	△1,741
支払利息及び社債利息	436	484
為替差損益(△は益)	754	△43
売上債権の増減額(△は増加)	△4,223	△793
たな卸資産の増減額(△は増加)	△10,572	△8,654
仕入債務の増減額(△は減少)	656	612
未払金の増減額(△は減少)	△3,768	△10,665
前受金の増減額(△は減少)	14,939	14,072
長期預り保証金の増減額(△は減少)	△1,497	△1,952
未払消費税等の増減額(△は減少)	723	1,879
その他	6,924	3,954
小計	21,193	14,060
利息及び配当金の受取額	2,001	2,005
利息の支払額	△430	△489
法人税等の支払額	△3,687	△6,532
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,076	9,044
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△803	△3,077
定期預金の払戻による収入	1,292	810
有価証券の取得による支出	△7,768	△7,610
有価証券の売却及び償還による収入	25,237	6,617
投資有価証券の取得による支出	△10,889	△1,040
投資有価証券の売却及び償還による収入	9,526	11,772
関係会社株式の取得による支出	—	△14
関係会社株式の売却による収入	9	14
有形及び無形固定資産の取得による支出	△13,881	△19,725
貸付けによる支出	△346	△1,431
貸付金の回収による収入	123	120
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△5,475	△1,398
その他	5,417	543
投資活動によるキャッシュ・フロー	2,441	△14,419

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	5,996	87
長期借入れによる収入	300	590
長期借入金の返済による支出	△11,259	△3,962
社債の償還による支出	△325	△425
自己株式の取得による支出	△0	△1
自己株式の処分による収入	406	359
配当金の支払額	△4,982	△4,984
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△451	—
その他	1,904	1,933
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,411</b>	<b>△6,403</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	45
<b>現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>13,060</b>	<b>△11,732</b>
現金及び現金同等物の期首残高	25,476	40,365
<b>連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)</b>	<b>—</b>	<b>66</b>
現金及び現金同等物の四半期末残高	38,536	28,698

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,749	57,503	19,301	97,553	926	98,480
セグメント間の内部売上 高又は振替高	207	1,888	12	2,107	558	2,666
計	20,957	59,391	19,313	99,661	1,485	101,146
セグメント利益	4,633	4,884	3,665	13,183	612	13,795

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	13,183
「その他」の区分の利益	612
全社費用(注)	△5,228
四半期連結損益計算書の営業利益	8,566

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	22,594	60,096	23,032	105,723	539	106,262
セグメント間の内部売上 高又は振替高	210	1,797	14	2,022	571	2,594
計	22,805	61,893	23,046	107,746	1,110	108,856
セグメント利益	5,820	4,432	3,974	14,227	378	14,605

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	14,227
「その他」の区分の利益	378
全社費用 (注)	△5,484
四半期連結損益計算書の営業利益	9,121

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社の本社機構については、事業領域の拡大に伴い、グループ一体経営を目的とした戦略的機能としての意味合いが強くなったため、従来、報告セグメントに帰属しない一般管理費については、利益の規模に応じて各報告セグメントへ配賦しておりましたが、各セグメントへは配賦せずにセグメント利益の調整額に「全社費用」として計上する方法に変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の算定方法に基づき作成したものを記載しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「メディカル事業」セグメントにおいて、平成29年4月1日付でアクティバ(株)の株式を取得し、子会社化したことよりのれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては806百万円であります。